

- 学習指導要領
- 第7次福島県総合教育計画
令和6年度学びの変革推進プラン
- 未来をつくるいわきの学校教育ABCプラン

教育目標 **なかよくする子ども** **がんばりぬく子ども** **さきを見通して考える子ども** **きたえる子ども**
 (教育目標具現のための行動基準 ○自ら学ぶ ○共に学ぶ ○真似て学ぶ)

目指す学校像
 一人一人が夢を持ち、生き
 生きと学び合える学校

目指す児童像

- 学習習慣を身につけ、進んで学ぶ (何を理解しているのか、何ができるか)
- 自分に自信を持ち、互いに認め合い、高め合う (理解していること、できることをどう使うか)
- 最後までがんばりぬく (学んだことをどう生かすか)

目指す教師像

- 日々の自己研鑽をし、使命感と誇りをもって取り組み、授業力を高める。
- 組織力を生かし、学校力を高める。
- 子供を愛し、共に学び、互いに磨きあう。

学び方

学びの方向性

- 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるため、校内研修の活性化を図る。
- 課題を解決するため、課題解決的な学習の充実。
- 個性を生かす。
- 「学びのスタンダード」を基に、より質の高い授業の構築
- ふくしま学力調査、全国学力学習調査による自校の課題の把握と解決を図る。
- 「家庭学習スタンダード」を基に、効果的な家庭学習と学習習慣づくりを実践する。
- 学校図書館の活用
- タブレット等の活用、ICTに対応した授業づくりとプログラミング教育の推進。
- 江名地区中学校区の連携による学力向上。

社会に開かれた教育課程

- 学校評価アンケート等による意識結果等の発信に努める。
- 学校、学級だよりの情報を発信する。
- 地域人材・地域素材の積極的活用を図る。
- 江名中、江名小学校との小・中の学びの連携を継続、推進する。

学びの方策

- 授業スタンダードを活用し、より効果的な授業スタイルの確立と教員間の互見授業に努める。
- 全国・県学力調査の結果を全校体制で分析し、課題を見つけ出し効果的な学力の向上の手立てを協働で講ずる。
- 朝の時間の読書活動やチャレンジタイムを活用し、個に応じた学力の定着と伸長をはかる。
- 家庭学習スタンダードを基に学校と家庭学習をより関連させる循環型学習の確立に努める。
- 学校司書の学習活動、読書活動への積極的参加と、図書ボランティアの読み聞かせによる読書活動を推進する。
- コンピュータによるプログラミング教育の体験を通し、操作活動を充実していく。